

委 託 設 計 書																	
設計者				係長				課長補佐				課長					
令和8年度 一般会計		款		土木費		項		都市計画費		目		公遊園費		節		委託料	
施工（実施）箇所		調布市入間町3丁目22番地ほか										委託番号 第 1 号					
令和8年度入間蟹沢第1緑地ほか法面予備設計等委託																	
委 託 費 ￥ ー																	
内 訳										設計業務		￥					
										地質調査業務		￥					
										地質解析業務		￥					
										測量業務		￥					
										設計業務		￥					
										地質調査業務		￥					
										地質解析業務		￥					
										測量業務		￥					
										設計業務		￥					
										地質調査業務		￥					
										地質解析業務		￥					
										測量業務		￥					
消費税相当額																	
総委託費																	
工期（実施期間） 令和 9 年 3 月 10 日																	
調 布 市																	
施工（実施）理由		本委託は調布市土砂災害警戒区域等における崖線樹林地等整備に向けた調査・検討に															
		基づき、早急に対策が必要な箇所について実施するものです。															
設計説明		< 委 託 内 容 >															
		1	設計業務		法面工予備設計						一式						
		2	地質調査業務		一般調査業務						一式						
		3	地質解析業務		解析等調査業務						一式						
		4	測量業務		測量業務						一式						

委 託 案 内 図



委託箇所 調布市入間町3丁目22番地ほか
(入間蟹沢第1・2・4・6緑地・高齢者支援施設)

[件 名] 令和8年度入間蟹沢第1緑地ほか法面予備設計等委託 委託総括書 [委託業務名]			
委託項目・工種・種別	内容(数量)	金額 円	摘 要
予備設計(設計業務)			
道路構造物設計	一 式		
一般構造物設計	一 式		
一般構造物予備設計	一 式		第 1 号表内訳のとおり
打合せ(道路構造物設計)	一 式		
打合せ	一 式		
打合せ協議	一 式		第 2 号表内訳のとおり
直接人件費計			
旅費交通費	一 式		第 3 号表内訳のとおり
電子計算機使用料	一 式		第 4 号表内訳のとおり
電子成果品作成費	一 式		第 5 号表内訳のとおり
直接経費計			
直接原価			
その他原価	一 式		第 6 号表内訳のとおり
業務原価			
一般管理費等			
委託価格計			
消費税及び地方消費税の額			
委託料計			

[委託名] 予備設計（設計業務） 第 1 号 種 別 内 訳 書						
種 別・細 別・内 訳	形 状・寸 法	数 量	単位	単 価	金 額 円	摘 要
一般構造物予備設計						
法面工予備設計						
設計計画		4	箇所			
設計条件の確認		4	箇所			
比較形式選定		4	箇所			
概略設計計算		4	箇所			
概略設計図		4	箇所			
協議資料の作成		4	箇所			
概算工事費		4	箇所			
比較一覧表作成		4	箇所			
照査		4	箇所			
報告書作成		4	箇所			
合同現地踏査		1	回			

第 2 号

種 別 内 訳 書

調 布 市

第 3 号

種 別 内 訳 書

[illegible]

[委託名] 予備設計（設計業務）	種 別 内 訳 書
第 4 号	

[委託名] 予備設計（設計業務） 第 4 号	種 別 内 訳 書
---------------------------	-----------

[委託名] 予備設計（設計業務）	種 別 内 訳 書
第 4 号	

[illegible]

[委託名] 予備設計（設計業務） 第 5 号	種 別 内 訳 書
---------------------------	-----------

[委託名] 予備設計（設計業務） 第 5 号	種 別 内 訳 書
---------------------------	-----------

[委託名] 予備設計（設計業務） 第 5 号	種 別 内 訳 書
---------------------------	-----------

[illegible]

第 6 号

種 別 内 訳 書

調 布 市

[件 名] 令和8年度入間蟹沢第1緑地ほか法面予備設計等委託 委託総括書 [委託業務名]			
委託項目・工種・種別	内容(数量)	金額 円	摘要
予備設計(地質調査業務)			
一般調査業務	一式		
直接調査費	一式		
機械ボーリング	一式		第1号表内訳のとおり
サンプリング(不攪乱資料の採取)	一式		第2号表内訳のとおり
サウンディング及び原位置試験	一式		第3号表内訳のとおり
室内土質試験(物理試験)	一式		第4号表内訳のとおり
室内土質試験(力学試験)	一式		第5号表内訳のとおり
解析等調査業務(直接労務費)	一式		第6号表内訳のとおり
直接調査費			
電子成果品作成費	一式		第7号表内訳のとおり
直接経費計			
直接調査費計			
間接調査費	一式		第8号表内訳のとおり
旅費交通費	一式		第9号表内訳のとおり
施工管理費	一式		第10号表内訳のとおり
間接経費計			
純調査費計			
諸経費			
一般調査業務費計			
消費税及び地方消費税の額			
委託料計			

第 1 号

種 別 内 訳 書

調 布 市

第 2 号

種 別 内 訳 書

市 布 調

第 3 号

種 別 内 訳 書

市 布 調

[委託名] 予備設計（地質調査業務）

第 4 号

種 別 内 訳 書

種 別・細 別・内 訳	形 状・寸 法	数 量	単位	単 価	金 額 円	摘 要
室内土質試験（物理試験）						
土粒子の比重試験						
土粒子の密度試験	3 個/試料	6	試料			
含水量試験						
土の含水比試験	3 個/試料	6	試料			
粒土試験						
土の粒度試験	粘性土	6	試料			
液性限界試験						
土の液性限界試験	6点/試料	6	試料			
塑性限界試験						
土の塑性限界試験	3個/試料	6	試料			

第 5 号

種 別 内 訳 書

[illegible]

第 6 号

種 別 内 訳 書

[illegible]

第 7 号

種 別 内 訳 書

[illegible]

[委託名] 予備設計（地質調査業務） 第 8 号 種 別 内 訳 書						
種 別・細 別・内 訳	形 状・寸 法	数 量	単位	単 価	金 額 円	摘 要
間接調査費						
運搬費						
現場内小運搬 [市場単価]	モノレール運搬 架設・撤去 回数= 2	1	式			
モノレール機械器具損料	5 0 m以下	12	日			
準備費						
間接調査費 [市場単価]	準備及び後片付け	1	式			
間接調査費 [市場単価]	調査孔閉塞	1	式			
仮設費						
足場仮設 [市場単価]	平坦足場 設置箇所数= 2	1	式			
足場仮設 [市場単価]	傾斜足場 設置箇所数= 2	1	式			
安全費						
交通誘導警備員B		15	人			
営繕費						
間接調査費	環境保全 仮囲い	4	箇所			

第 8 号

種 別 内 訳 書

調 布 市

[委託名] 予備設計（地質調査業務）
第 9 号

[委託名] 予備設計（地質調査業務）
第 9 号

種 別 内 訳 書

[委託名] 予備設計（地質調査業務）
第 9 号

[illegible]

[委託名] 予備設計（地質調査業務）

第 10 号

種 別 内 訳 書

種 別・細 別・内 訳	形 状・寸 法	数 量	単位	単 価	金 額 円	摘 要
施工管理費						
施工管理費		1.0	式			

[件 名] 令和8年度入間蟹沢第1緑地ほか法面予備設計等委託 委託総括書 [委託業務名]			
委託項目・工種・種別	内容(数量)	金額 円	摘要
予備設計(地質解析業務)			
解析等調査業務(コンサルタント的調査業務)	一式		
地盤解析	一式		
解析等調査業務(直接人件費)	一式		第1号表内訳のとおり
直接人件費計			
旅費交通費	一式		第2号表内訳のとおり
電子成果品作成費	一式		第3号表内訳のとおり
直接経費計			
直接原価			
その他原価	一式		第4号表内訳のとおり
業務原価			
一般管理費等			
委託価格計			
消費税及び地方消費税の額			
委託料計			

[委託名] 予備設計（地質解析業務）

第 1 号

種 別 内 訳 書

種 別・細 別・内 訳	形 状・寸 法	数 量	単位	単 価	金 額 円	摘 要
解析等調査業務（直接人件費）						
計画準備						
計画準備（解析等調査業務）		1	業務			
既存資料の収集・現地調						
既存資料の収集・現地調査		1	業務			
資料整理とりまとめ						
資料整理とりまとめ（解析等調査業務費）		1	業務			
断面図等の作成						
断面図等の作成（解析等調査業務費）	地質	1	業務			
総合解析とりまとめ						
総合解析とりまとめ	地質	1	業務			

第 2 号

種 別 内 訳 書

[illegible]

[委託名] 予備設計（地質解析業務）	
第 3 号	種 別 内 訳 書

[委託名] 予備設計（地質解析業務）	
第 3 号	種 別 内 訳 書

[委託名] 予備設計（地質解析業務）	
第 3 号	種 別 内 訳 書

[illegible]

第 4 号

種 別 内 訳 書

調 布 市

[件 名] 令和8年度入間蟹沢第1緑地ほか予備設計等委託 委託総括書 [委託業務名]			
委託項目・工種・種別	内容(数量)	金額 円	摘要
予備設計(測量業務)			
測量業務	一式		
測量業務	一式		
測量業務	一式		第1号表内訳のとおり
直接調査費			
旅費交通費	一式		第2号表内訳のとおり
電子成果品作成費	一式		第3号表内訳のとおり
直接経費計			
技術管理費(精度管理費)	一式		第4号表内訳のとおり
直接測量費計			
諸経費			
委託価格計			
消費税及び地方消費税の額			
委託料計			

[委託名] 予備設計（測量業務） 第 1 号 種 別 内 訳 書						
種 別・細 別・内 訳	形 状・寸 法	数 量	単位	単 価	金 額 円	摘 要
測量業務						
測量業務						
作業計画（地上レーザ 測量）		1	業務			
3次元点群データ図化 作業		0.003	km2			
縦横断面データ図化作 成		0.003	km2			
機械経費		1	式			
既存物位置調査	樹木・フェンス・擁壁 等	1	式			

第 2 号

種 別 内 訳 書

調 布 市

第 3 号

種 別 内 訳 書

[illegible]

第 4 号

種 別 内 訳 書

[illegible]

令和 8 年度入間蟹沢第 1 緑地ほか法面予備設計等委託

特 記 仕 様 書

1. 適用範囲及び一般事項

本委託は、この仕様書に規定されているもののほか、東京都建設局制定の「設計委託標準仕様書、同地質調査委託標準仕様書、同測量委託標準仕様書」（以下「標準仕様書」という。）によるものとする。

2. 業務目的

本委託は、調布市が管理する箇所「入間蟹沢第 1・2・4・6 緑地及び高齢者支援施設」において、指定されている土砂災害特別警戒区域（K 0 5 1 約 1 5 7 2 m²）の指定解除を前提として法面整備を実施するにあたり、各施設ごとに今後工事発注図書等を作成するために実施するものである。

3. 個人情報の取り扱い

この委託における個人情報の取り扱いは、標準仕様書に規定されているもののほか、「情報セキュリティの確保に関する特記仕様書」によるものとする。

4. 再委託

- （1）受託者は、本業務等の全部又は主要な部分を一括して第三者に委託してはならない。
- （2）この仕様書に定める事項については、受託者と同様に、再委託先においても遵守するものとし、受託者は、再委託先がこれを遵守することに関して、一切の責任を負う。
- （3）本委託業務等の再委託先である協力会社は、調布市の競争入札参加資格者である場合、指名停止期間中及び排除措置中であってはならない。

5. 資料の貸与

本委託履行にあたり下記の成果品を参考資料として貸与する。

- ・令和 6 年度測量成果（三次元点群測量データ）

・敷地境界資料

6. 主任技術者

標準仕様書第1章第1節1. 1. 7の5に定める主任技術者は、下記に示すいずれかの条件を満たす者とする。

(1) 技術士の資格を有し、技術士法による登録を行っている者。

ア 総合技術監理部門：建設－土質及び基礎

イ 総合技術監理部門：応用理学－地質

ウ 建設部門：建設－土質及び基礎

エ 建設部門：応用理学部門－地質

(2) RCCMの資格を有し、「登録証書」の交付を受けている者。

ア 土質及び基礎部門

イ 地質部門

7. 照査技術者及び照査の実施

本委託業務の履行に当たっては、別途定める「詳細設計照査要領」を運用することとし、設計委託標準仕様書記載の「照査技術者及び照査の実施」に基づき、技術者の配置、照査の実施等の適正化を図ること。

標準仕様書第1章第1節1.1.8の3に定める照査技術者は、下記に示すいずれかの条件を満たす者とする。

(1) 次に示すいずれかの技術士の資格を有し、技術士法による登録を行っている者。

ア 総合技術監理部門：建設－土質及び基礎

イ 総合技術監理部門：応用理学－地質

ウ 建設部門：土質及び基礎

エ 応用理学部門：地質

(2) 次に示すいずれかのRCCMの資格を有し、「登録証書」の交付を受けている者。

ア 土質及び基礎部門

イ 地質部門

8. 業務実績の登録

受託者は、契約時または変更時において、契約金額が100万円以上の業務については、測量調査設計業務実績情報サービス（TECRIS）に基づき、受注・変更・完了・訂正時に業務実績情報として、「登録のための確認のお願い」（旧称業務カルテ）を作成し、監督員の確認を受けたうえ、受注時は契約後、土曜日、日曜日、祝日等を除き10日以内に登録内容の変更時は変更があった日から、土曜日、日曜日、祝日等を除き10日以内に、完了時は完了後10日以内に、訂正時は適宜登録機関に登録申請しなければならない。

また、登録機関発行の「登録内容確認書」（旧称「業務カルテ受領書」）が届いた際は、その写しを速やかに監督員に提出しなければならない。

なお、変更時と完了時の間が10日間に満たない場合は、変更時の提出を省略できるものとする。なお、受託者が公益法人の場合はこの限りでない。

9. ディーゼル自動車の適合確認

物品の納入等（現場作業等を含む）にあたって自動車を使用する場合、自動車の種類はディーゼル自動車以外の自動車（天然ガス車、LPG車、ガソリン車等）又は、「都民の健康と安全を確保する環境に関する条例」（平成12年東京都条例第215号）に適合するディーゼル自動車を使用すること。

なお、ディーゼル自動車を使用する場合は、適合確認のために下記の書類を提出すること。

（1）使用車報告書

（2）自動車検査証（車検証）の写し

（3）粒子状物質減少装置装着証明証（都が指定した粒子状物質現象装置を装着している場合）

10. 業務内容（法面工予備設計）

（1）法面工予備設計

ア 既存資料で概略設計計算、図の作成は簡略化できない

イ 基礎工の検討は行わない

ウ 参考 土砂災害特別警戒区域 1, 572 m²

土砂災害警戒区域 4, 809 m²

基礎調査番号 K051のうち調布市が管理する範囲

(2) 設計計画

業務の目的・趣旨を把握したうえで、本仕様書に示す業務内容を確認し、業務概要、実施方針、工程表、組織計画、打合せ計画、成果品の品質を確保するための計画、成果品の内容・部数・使用する主たる図書及び基準類、緊急時を含む連絡体制、照査時期及び方法を示した照査計画書等について業務計画書として作成し、着手後3週間以内を目安に監督員に提出すること。

(3) 設計基本条件の確認

受託者は、業務の着手にあたり、貸与資料や適用基準等により設定する設計基本条件、現地踏査や資料収集による調査対象項目等を整理したうえで監督員に提出すること。

また、設計・施工上の基本条件について既往資料及び貸与資料を当該設計用に整理し、その内容に疑義及び不足資料がある場合、速やかに監督員と協議すること。

なお、電子計算機によって設計計算を行う際の入力条件や出力表示等については、明瞭に整理し、監督員の確認を受けること。

(4) 現地踏査

現地踏査は、対象範囲の地形、地質、周辺環境、周辺構造物、土地利用状況を確認し、工事用通路、施行ヤード等の検討工事に必要な現地の情報を把握すること。

また追加で測量や地質調査が必要となった際には、その理由や数量など書面にて監督員と協議を行うこと。

その際、現地を識別するため、設計の範囲など目標物となる構造物や直径10cm以上の樹木を記録すること。

併せて対象となる樹木に番号をふり番号の設置を行う。

(5) 比較形式選定

受託者は、比較3案程度に関する検討結果をまとめ、比較一覧表を作成すること。比較一覧表には断面図を記入し、構造特性、施工性、経済性、維持管理、環境等について、得失及び問題点を記述し、各比較案の評価を行い最適構造形式を明示すること。

(6) 概略設計計算

受託者は、比較形式各案について構造形状を想定し、主要点で決定された構造形式の主要構造寸法及び設計条件に従い、必要な安定計算を行うこと。

(7) 概略設計図

受託者は、検討結果に基づき、比較案3案について、概算数量を算出するために、概略設計図を作成する。

概略設計図は、構造全体概要図を作成するものであり、案内図、平面図、側面図、断面図、主要点高さ、斜面勾配その他工事に必要な図面に設計条件等を含めて作成する。

(8) 概算工事費の算出

受託者は、(7)で作成した概略設計図に基づき、比較案3案程度の概略数量を算定し、標準仕様書2. 1. 1 2 設計業務の成果(5)に従い算出する事。

その際、受託者は、積算の明細根拠を明らかにするものとする。

(9) 比較一覧の作成

受託者は、比較3案程度に関する検討結果をまとめ、比較一覧表を作成すること。

比較一覧表には概略設計図より断面図を記入し、構造特性、施工性、経済性、維持管理、環境等について、得失及び問題点を記述し、各比較案の評価を行い最適構造形式を明示すること。

(10) 照査

照査技術者は、標準仕様書1. 1. 8 照査技術者及び照査の実施に基づき、下記に示す事項を標準として照査を行い、主任技術者に提出するものとする。

ア 基本条件の決定に際し、地形、地質条件、施工条件などの現地状況のほか、基礎

情報を収集・把握し、設計の目的に対応し適切であるかについて照査を行うこと。

特に、地形・地質条件、土地利用、周辺の整備状況などについては設計目的に対応した情報が得られているかの確認を行う。

イ 概略設計図をもとに、位置、取合い、地盤条件等が、他の埋設物、支障物件、周辺施設との近接状況等の施工条件等が設計計画及び設計に反映されているか。

また、埋設物、支障物件、周辺施設との近接等、施工条件が設計計画に反映されているか。

ウ 設計方針及び設計手法が適切であるか。

エ 概略設計図、概算工事費の適切性及び整合性に着目し施工方法が実現可能なものか

(11) 打合せ

打合せには主任技術者が立ち会い、打合せは中間打合せ2回を含む計4回とする。

また、打合せ後速やかに打合せ議事録を提出するとともに、適宜進捗状況を報告し、当初工程表にずれが生じた場合すみやかに監督員に報告すること。

(12) 報告書作成

本業務で実施した項目について、標準仕様書2・1・12設計業務の成果に準じて、報告書の作成を行うこと。

なお、設計条件、地質調査結果の概要、測量成果の概要、現況斜面の状況、構造形式の決定経緯と選定理由、主要断面及び主要部分の設計計算の主要な結果、概略平面図、詳細設計に向けた、現場調査結果に基づく条件、必要な調査、検討事項、留意事項などの委託内容取りまとめた設計概要書を作成すること。

11. 業務内容（地質調査）

(1) 地質調査

ア 機械ボーリング 4本

イ サンプリング 4本

ウ 標準貫入試験 延べ60mで44回

エ 土質試験 別紙設計内訳書のとおり

(2) 一般事項

東京都建設局制定の「地質調査委託標準仕様書」によるものとする。

(3) 調査箇所・方法

現地において実施する、高齢者支援施設との合同調査の内容を遵守し、調査箇所や調査方法を協議により決定したのち、実施すること

(4) 報告書作成

地質調査完了時には速やかに、地質調査標準仕様書によるもののほか、次の成果品を提出すること。

ア 報告書 1部

イ 調査・試験結果 1部

ウ 電子成果品 2部

12. 業務内容（測量一般業務）

(1) 測量一般業務

過年度の三次元点群測量データを用いた設計及び協議に必要な図面等を作成すること。

(2) 一般事項

東京都建設局制定の「測量委託標準仕様書」によるものとする。

(3) 調査箇所・方法

土砂災害警戒区域、土砂災害特別警戒区域及び隣接する市所有施設まで行うこと。

(4) 既存物位置調査

既存構造物、直径10cmを超える樹木など今後工事を進めるにあたり必要となる構造物、樹木について、位置を把握すること。あわせて平面図と重ね対策検討資料とする。

土砂災害警戒区域、土砂災害特別警戒区域及び隣接する市所有施設まで行うこと。

あわせて、平面図に位置寸法等記載し、樹木は番号表と突合できるように整理すること。

(5) 報告書作成

測量完了時には速やかに、測量委託標準仕様書によるもののほか、次の成果品を提出すること。

ア 報告書 1部

イ 平面図に土砂災害（特別）警戒区域、構造物敷地界を示した図

ウ 電子成果品 2部

1 3. 対象地への立ち入り

土地への立ち入りを行う際は、監督員と連絡を取り指示を受け、必要な手続きを行う。

事故防止に十分留意し、安全対策のため必要な処置を講ずるとともに、第三者への影響についても同様とする。

1 4. 安全管理

現地調査等は、近隣に住居、学校、保育施設もあり、緑地利用者もいることから、安全の確保を行ったうえで調査を実施すること。

なお、路上で作業を行う場合には、事前に所轄警察署の道路使用許可を受けるとともに、速やかに監督員へ道路使用許可証の写しを提出すること。

また、作業中は道路使用許可証の原本を携帯し、その条件を遵守すること。

1 5. 設計配慮

設計業務は、常に安全性、経済性、環境への影響、建設副産物の処理、景観等について、総合的に検討するとともに環境に配慮した資機材の選定に努めること。

特に、設計区域内に希少種の動植物も確認されていることから、これらへの影響を無くすよう最大限の配慮を行い検討すること。

1 6. 樹木の伐採等

本委託箇所は、国分寺崖線樹林地であるため、既存樹木や景観に対しては、伐採等を最小限とし極力残存させるなど検討を行うこと。

1 7. 関係者協議資料

本委託箇所のうち、高齢者支援施設があり、調布市の所管部署と合わせて連携を図り事業を

行う事から、関係者と立会いを行い保存すべき樹木等の確認を行い設計に反映した結果をもとに、調布市の各関係部署や東京都（河川部）と土砂災害特別警戒区域解除に向けた設計内容の確認協議を行う必要があるため、受託者は、協議用資料として、以下の資料を作成すること。

（１）協議内容書

（２）添付資料（位置図，案内図，平面図，断面図，構造図，現場写真，概略設計資料，安定等計算書、施工面積，仮設工図，委託概要版，その他の求められる資料）

（３）東京都との土砂災害特別警戒区域の解除に関わる協議資料として，対策検討根拠，計算書等つど協議を行う際に求められる資料

18．図面の作成

図面の作成にあたっては，東京都建設局が定める「C A D 製図基準・同解説」に基づき実施すること。

なお，本基準は東京都建設局ホームページから入手できる。

19．成果品の提出

成果品は，標準仕様書 2． 1． 1 2 設計業務の成果によるものを報告書としてとりまとめること。

（１）報告書（A4 キングファイル） 1 部

（２）設計図（A3 サイズ） 1 部

（３）委託概要版（報告書、協議資料分を除く） 7 部

（４）電子データ（報告書，図面，数量計算書，現地写真，調査資料など） 2 部

成果品の表紙・背表紙には、『件名』及び『会社名』・『斜面番号』・『作成年月』を記入すること。なお添付写真には，黒板に撮影日を記入したものとする。

デジタルデータの形式は，SXF 形式及びオリジナルデータとする。

SXF 形式のデータは，「CAD 製図基準（案）（国土交通省）」及び東京都建設局「電子納運用ガイドライン」によるものとし，オリジナルデータは，原則として拡張子[dwg]使用して作成するものとし，dxf データ，sfc と合わせて納品するが，これによりがたい場合

は監督員と協議すること。

オリジナルデータは、写真等素材も含めて別フォルダーとして併せて提出すること。

上記以外の事項については、東京都建設局「電子納品運用ガイドライン」によること。